

## 股関節疾患

### 股関節痛

高齢者における股関節部痛の原因は変形性股関節症が最も多く、初期では運動時の疼痛が軽度ですが、進行すると疼痛の持続、股関節の可動域の低下を認め日常生活に支障をきたすことがあります。また、股関節の腫れや他の関節にも症状がある場合は関節リウマチも疑われます。アルコール多飲歴のある方や、副腎皮質ホルモン（ステロイド）の全身投与による治療を受けられた人は、大腿骨頭壊死症も考えられます。

### 全人工股関節置換術

全人工股関節置換術（Total Hip Arthroplasty ; THA）は、変形性股関節症や大腿骨頭壊死症、関節リウマチなどの疾患に対する確実な除痛と日常生活動作の改善が得られる優れた治療法です。THAは変形や破壊を生じた股関節を金属の人工関節に置き換え、軟骨の役割をポリエチレン、セラミックなどを用いて限りなく正常に近い股関節を再建する手術です。

また、当院では、THAの際、できる限り筋肉への侵襲を避けるために筋肉の間を分けて（筋肉を切らずに）手術を行う低侵襲手術（Minimally invasive surgery : MIS）を可能な限り心がけております。MISを行うメリットは術後の疼痛緩和や早期復帰につながり入院期間の短縮にもつながります。現在、自宅退院までは約2～3週間の予定としており、退院後のリハビリ加療は義務つけておらず、普段の生活をしていただくことがリハビリにつながると説明させていただいております。退院後のリハビリ加療を強く希望される患者様に対しては、近隣の開業医さんのお願いする場合がございます。安全で安心できる手術・医療を目標に地域の方々にお役にたてればと考えております。